

1 水俣病の発生について

1-2 症状について

Q 1 猫の他にも、動物に影響があったのですか。

A 1 魚を食べていたカラスなどの鳥や家畜の豚など、たくさんの生き物が被害を受けました。

Q 2 なぜ、メチル水銀が体内からなくなっても病気は治らないのですか。

A 2 メチル水銀によって破壊された脳細胞や神経細胞は、その他の細胞のように再生しませんので、水俣病は治らない病気だといわれます。

Q 3 水俣病の治療法はどういうものか。治す薬は開発されたのか。

水俣病の人はどんな治療をしていたのか。もう絶対治らないのか。

水俣病への治療法はなかったのか。

水俣病の症状を治す（やわらげる）医療について。

今、水俣病は治療できるのか。

A 3 水俣病は、脳細胞を含む神経細胞がメチル水銀によって破壊される中毒症で、壊れた脳細胞は再生しないとわれおり、治療薬などは開発できていません。理学療法や作業療法は、機能回復及び機能維持を目的とするもので病気を治すことはできません。痛みやしびれについては、薬物や注射で症状を和らげる緩和療法が行われています。

水銀排泄とビタミンEの投与を平行して行うための研究は行われているようですが、その開発までには至っていないのが現状のようです。

Q 4 水俣病と認定される基準は。

A 4 水俣病認定制度では、水俣病の代表的な症状とされる手足の感覚障害以外に難聴や視野狭窄といった複数症状の組み合わせを求めています。

Q 5 水俣病になる人に違いはあるのですか。

A 5 病気の症状は人によって違います。摂取した水銀の量、水銀に対する耐性や体力、破壊された中枢神経や神経細胞の部位など、ひとり一人違います。

Q 6 水俣病の検査の内容

A 6 通常では、手足の感覚障害（触診や綿棒、爪楊枝を使用）の検査をされるようです。水俣病の診断は、重度の方に比べ、軽症、慢性型といわれる人の方が判断しづらいといわれています。

Q 7 症状のちがいは魚を食べた量と関係があるのか。

A 7 水俣病はメチル水銀に汚染された魚介類を食べることで起こる中毒症ですから、食べた量が多いほど症状が重くなりますが、症状は個人差があります。同じ食生活であるはずの家族でも症状が違います。年齢、水銀に対する耐性、体力、影響を受けた中枢神経や神経細胞の部位などにより症状が異なります。

Q 8 お腹の中の赤ちゃんにはどんな症状がでたのですか。

A 8 メチル水銀は、栄養と一緒に胎盤を通り抜け、胎児の脳に入り込んで脳細胞を破壊しました。感覚障害、言語障害、運動失調、発達障害など多数の症状があります。死産や流産が多数発生しましたし、生まれたものの話すことも意思表示もできないまま亡くなった人もいます。現在は、胎児性患者は60歳前後になりますが、自分の足で歩行できなくなったり、言葉が聞き取りにくくなるなど、ほとんどの人が加齢によって症状が進行しています。